

はじまっています

ごみ指定袋の使用

7/1からは
本格導入
となります

—燃やせるごみは指定袋を使って出しましょう—

旧小野田市地域については、合併前に指定袋を使用していなかったことから、6月末までは指定袋以外で出された燃やせるごみも収集しています。しかし、7月1日以降は収集しませんので、燃やせるごみは指定袋で出してください。

旧山陽町地域については、以前から指定袋が使用されてきました。お手元の買い置きがなくなり次第、新市の指定袋を使用してください。

ごみの分別徹底や減量化をすすめるため、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】環境課環境衛生係 ☎ 82-1143



ごみ指定袋で出された燃やせるごみ

ごみ指定袋の販売



■ごみ指定袋が購入できる場所は？

スーパーなど、お近くのお店で販売されています。

■ごみの量を減らすには？

過剰包装を断る、買い物袋を持参するなど、普段の生活の中の行動を少し気をつけてみるだけで、ごみの量は減ります。また、資源となるごみをきちんと分別することも、ごみの減量につながります。

ごみでいっぱいになった「環境衛生センター」のごみピット



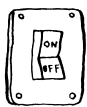
6月は

環境月間

今、地球環境は温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などさまざまな危機にさらされています。これらの問題は着実に進行しており、私たちの子孫の時代の環境に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。人類の将来に負の遺産を残さないために、日常生活の中で私たち、一人ひとりが環境にやさしい行動に取り組みましょう。



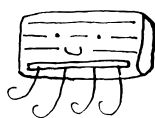
例えばこんなこと...



待機電力を90%削減する。主電源を切りましょう。長時間使わないときは、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えの際には、待機電力の少ないものを選ぶようにしましょう。

年間で約3,840円の節約/世帯

(環境省「温暖化防止対策10項目」より)



冷房温度を1度高く、暖房温度を1度低く設定する。

カーテンを利用して遮光を調整したり、着るものを工夫すると、冷暖房に頼らないで過ごせます。

年間で約2,000円の節約/世帯

(環境省「温暖化防止対策10項目」より)

《かんきょうフェスタ2005》

- ▶とき 6月5日(日) 10:00~16:00
- ▶ところ 小野田サンパーク
- ▶催し 環境展、ミニ水族館、環境クイズ、空き缶積み上げ大会等

【問い合わせ先】

環境課環境保全係 ☎ 82-1144